



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 NITTOH

コード番号 1738 URL <http://www.nittoh-info.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 寿朗

TEL 052-915-3210

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,316	11.4	208	24.4	214	22.1	125	24.4
25年3月期第2四半期	2,976	5.3	167	9.4	175	9.0	100	20.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 120百万円 (20.7%) 25年3月期第2四半期 99百万円 (11.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	30.93	—
25年3月期第2四半期	24.86	—

(注) 当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	3,554		2,218		62.4
25年3月期	3,503		2,143		61.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,218百万円 25年3月期 2,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	11.50	11.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割しております。なお、平成25年3月期の期末配当金については当該株式分割が行われる前の金額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,817	9.4	385	8.8	395	5.6	228	3.7	56.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	4,060,360 株	25年3月期	4,060,360 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	5,054 株	25年3月期	4,328 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	4,055,762 株	25年3月期2Q	4,056,414 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、デフレ脱却に向けて打ち出された経済政策や金融政策の効果による円高是正や株価の改善、輸出や公共事業の持ち直し傾向を背景とした大企業を中心とする企業収益の改善などがみられ、緩やかな景気回復基調が感じられましたが、海外景気の減速や回復遅れなどの不確実性への懸念も依然としてあるため、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの中心となっている住宅建築業界におきましては、住宅ローンの金利優遇政策の継続、住宅に対する安全性や省エネ意識に対する関心の高さ、また、消費税率改正に伴う駆け込み需要による新築着工件数の増加がみられ、堅調に推移いたしました。しかし、雇用・所得環境は改善への期待感はあるものの、不透明さは残っており、本格的な回復には至りませんでした。

このような経済状況のもとで、当社グループの建設工事業におきましては、主に新築着工件数の増加により、戸建住宅向けのガス設備機器の新規組み込みや防水工事の増加があり、さらに省エネや創エネへの関心の高まりを背景として需要が増加している太陽光発電設備を中心とした省エネ商品、創エネ商品の販売件数の増加、継続した新規開拓による中規模建設物のリフォーム案件や改修防水案件の増加などにより、業績が伸長いたしました。

住宅等サービス事業におきましては、依然として、新規のシロアリ駆除依頼件数が減少傾向にあるものの、新築着工件数の増加に伴う戸建住宅向けのシロアリ予防工事が増加したこと、さらに、継続して既設住宅向けのシロアリ再予防工事の活動を実施したことにより、業績が伸長いたしました。

ビルメンテナンス事業におきましては、継続して新規取引先開拓を強化しておりますが、請負単価の低価格化への見直し要請があり、業績確保は厳しい状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,316百万円(前年同四半期比11.4%増)、営業利益は208百万円(前年同四半期比24.4%増)、経常利益は214百万円(前年同四半期比22.1%増)、四半期純利益は125百万円(前年同四半期比24.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて50百万円増加し、3,554百万円となりました。主な増減は、土地の増加206百万円及びたな卸資産の増加97百万円があったものの、現金及び預金の減少287百万円があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて24百万円減少し、1,335百万円となりました。主な増減は、仕入債務の増加40百万円及び退職給付引当金の増加12百万円があったものの、短期借入金の減少30百万円があったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて75百万円増加し、2,218百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加80百万円があったものの、その他有価証券評価差額金の減少3百万円及び少数株主持分の減少1百万円があったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、283百万円減少(前年同四半期は71百万円増加)し、当第2四半期連結会計期間末には872百万円(前年同四半期は993百万円)となりました。

営業活動による資金の増加は、45百万円(前年同四半期は135百万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益214百万円に加えて、仕入債務の増加による資金の増加40百万円があったものの、法人税等の支払額101百万円及びたな卸資産の増加による資金の減少97百万円があったことによるものであります。

投資活動による資金の減少は、248百万円(前年同四半期は9百万円の減少)となりました。これは、主に定期預金の払戻による収入38百万円があったものの、事業所の用地取得など有形固定資産の取得による支出252百万円及び定期預金の預入による支出34百万円があったことによるものであります。

財務活動による資金の減少は、79百万円(前年同四半期は54百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払額44百万円、短期借入の減少30百万円、長期借入金の返済による支出5百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当四半期におきましては、ほぼ計画どおりに業績が推移しておりますので、平成25年5月8日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,195,804	908,578
受取手形及び売掛金	783,291	770,933
たな卸資産	273,272	370,882
その他	128,218	141,182
貸倒引当金	△3,110	△3,775
流動資産合計	2,377,476	2,187,801
固定資産		
有形固定資産		
土地	563,586	769,922
その他(純額)	293,616	330,733
有形固定資産合計	857,203	1,100,655
無形固定資産		
のれん	14,062	9,375
その他	11,513	10,990
無形固定資産合計	25,575	20,366
投資その他の資産		
その他	245,565	249,062
貸倒引当金	△2,598	△3,728
投資その他の資産合計	242,967	245,334
固定資産合計	1,125,746	1,366,355
資産合計	3,503,223	3,554,157
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	468,779	509,341
短期借入金	65,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	10,080	7,320
未払法人税等	97,441	86,267
賞与引当金	77,142	78,585
完成工事補償引当金	16,600	13,800
その他	219,173	184,116
流動負債合計	954,216	914,429
固定負債		
長期借入金	2,280	—
退職給付引当金	227,335	239,360
長期未払金	24,840	24,240
その他	151,439	157,269
固定負債合計	405,894	420,869
負債合計	1,360,111	1,335,299

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	186,072	186,072
資本剰余金	145,813	145,813
利益剰余金	1,785,988	1,866,805
自己株式	△736	△993
株主資本合計	2,117,137	2,197,697
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,639	20,342
その他の包括利益累計額合計	23,639	20,342
少数株主持分	2,335	818
純資産合計	2,143,111	2,218,858
負債純資産合計	3,503,223	3,554,157

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,976,886	3,316,621
売上原価	2,089,676	2,344,719
売上総利益	887,210	971,902
販売費及び一般管理費	719,324	762,981
営業利益	167,885	208,920
営業外収益		
受取利息	99	110
受取配当金	619	658
受取手数料	1,190	1,261
受取保険金	3,924	1,648
助成金収入	432	34
その他	2,453	2,706
営業外収益合計	8,720	6,420
営業外費用		
支払利息	496	345
その他	213	219
営業外費用合計	710	564
経常利益	175,896	214,776
税金等調整前四半期純利益	175,896	214,776
法人税、住民税及び事業税	86,879	92,781
法人税等調整額	△10,466	△1,921
法人税等合計	76,413	90,860
少数株主損益調整前四半期純利益	99,482	123,916
少数株主損失(△)	△1,370	△1,517
四半期純利益	100,853	125,433

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	99,482	123,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	487	△3,296
その他の包括利益合計	487	△3,296
四半期包括利益	99,970	120,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,341	122,136
少数株主に係る四半期包括利益	△1,370	△1,517

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	175,896	214,776
減価償却費	11,112	9,926
のれん償却額	6,332	4,687
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,373	1,443
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△2,000	△2,800
退職給付引当金の増減額(△は減少)	17,589	12,025
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△652	1,795
受取利息及び受取配当金	△719	△768
支払利息	496	345
売上債権の増減額(△は増加)	△18,402	12,358
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,176	△97,610
仕入債務の増減額(△は減少)	32,212	40,561
その他	△10,589	△50,405
小計	219,825	146,334
利息及び配当金の受取額	719	768
利息の支払額	△487	△341
法人税等の支払額	△84,642	△101,314
営業活動によるキャッシュ・フロー	135,414	45,447
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△35,854	△34,755
定期預金の払戻による収入	34,653	38,854
有形固定資産の取得による支出	△4,530	△252,877
無形固定資産の取得による支出	△3,458	—
貸付けによる支出	△200	—
貸付金の回収による収入	148	117
その他	△50	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,292	△248,660
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,000	△30,000
長期借入金の返済による支出	△4,200	△5,040
自己株式の取得による支出	—	△256
配当金の支払額	△30,423	△44,616
少数株主への配当金の支払額	△166	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,789	△79,913
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	71,332	△283,126
現金及び現金同等物の期首残高	922,246	1,155,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	993,579	872,712

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,657,319	594,480	725,087	2,976,886	—	2,976,886
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,653	570	2,223	△2,223	—
計	1,657,319	596,133	725,657	2,979,110	△2,223	2,976,886
セグメント利益	35,609	156,685	68,510	260,805	△92,919	167,885

(注) 1. セグメント利益の調整額△92,919千円には、セグメント間取引消去△16,952千円、各報告セグメントに配分していない全社費用109,872千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,923,429	653,169	740,022	3,316,621	—	3,316,621
セグメント間の内部売上高 又は振替高	425	1,872	680	2,977	△2,977	—
計	1,923,854	655,042	740,702	3,319,598	△2,977	3,316,621
セグメント利益	87,463	184,299	46,987	318,750	△109,829	208,920

(注) 1. セグメント利益の調整額△109,829千円には、セグメント間取引消去17,240千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△127,070千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。